

平成16年3月25日

各位

会社名 ナブテスコ株式会社
 代表者名 取締役社長 興津 誠
 (コード番号 6268 東証 第1部)
 問合せ先 取締役 総務部長 佐和 博
 (TEL.03-3578-7070)

平成17年3月期の業績見通しに関するお知らせ

平成16年度(平成16年4月1日～平成17年3月31日)の連結および単体の業績見通しを下記の通りお知らせいたします。

なお、平成16年3月期の決算発表につきましては、5月7日を予定しておりますが、今回記載の平成16年3月期の業績予想につきましては前回公表時の数値と同一でありますことを念のため申し添えます。

記

1. 平成17年3月期の業績見通し(平成16年4月1日～平成17年3月31日)

『連結』

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
平成16年3月期業績予想(A)	124,500	7,500	7,800	4,000
平成17年3月期業績見通し(B)	133,000	8,500	9,000	4,800
増減額(B-A)	8,500	1,000	1,200	800
増減率(%)	6.8	13.3	15.4	20.0

(金額の単位:百万円)

『単体』

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益
平成16年3月期業績予想(A)	2,000	1,200	1,200	1,200
平成17年3月期業績見通し(B)	2,700	1,200	1,200	1,200
増減額(B-A)	700	-	-	-
増減率(%)	35.0	-	-	-

(金額の単位:百万円)

2. 平成17年3月期の中間期業績見通し(平成16年4月1日～平成16年9月30日)

『連結』

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
平成15年9月中間期実績(A)	60,497	3,687	3,867	1,715
平成16年9月中間期業績見通し(B)	66,000	3,700	4,000	2,500
増減額(B-A)	5,503	13	133	785
増減率(%)	9.1	0.4	3.4	45.8

(金額の単位:百万円)

『単体』

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
平成15年9月中間期実績(A)	8	86	86	87
平成16年9月中間期業績見通し(B)	1,300	600	600	600
増減額(B-A)	1,292	686	686	687
増減率(%)	-	-	-	-

(金額の単位:百万円)

3. 業績見通しの状況

平成16年度の日本経済は回復基調が継続し、世界経済においても中国市場の活況が続くものと予想されます。しかしながら、為替の円高傾向、イラクを始め世界各地で多発するテロの不安など不透明要素があり、経済への影響が懸念されます。

このような状況の中、当社グループは、新規事業の売上拡大、新商品の上市等を積極的に行い、収益の確保を図ってまいります。

『連結』

・「売上高」

ロボット市場、建設機械市場の好調を背景に前年比85億円増加の1,330億円の見通しです。

・「営業利益」

売上高の増加を主因に前年比10億円増加の85億円の見通しです。

・「経常利益」

営業利益の増加と金融収支の改善等により、前年比12億円増加の90億円の見通しです。

・「当期純利益」

経常利益の増加により、前年比8億円増加の48億円の見通しです。

『単体』

・「営業収益」

前年は6ヶ月間の活動であったため、前年に比し業務受託料が増加し7億円増の27億円の見通しです。

・「営業利益」

子会社よりの受取配当金相当の12億円の見通しです。

・「経常利益」

営業利益と同額の12億円の見通しです。

・「当期純利益」

経常利益と同額の12億円の見通しです。

以 上

見通しに関する注意事項:

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

(参考情報) 通期連結情報のセグメント別見通し

(金額の単位: 百万円)

		平成16年3月期 業績予想(A)	平成17年3月期 業績見通し(B)	増減額 (B) - (A)	増減率 (%)
売上高	精密機器事業	25,100	29,000	3,900	15.5
	輸送用機器事業	33,200	33,000	200	0.6
	航空・油圧機器事業	33,900	37,000	3,100	9.1
	産業用機器事業	32,300	34,000	1,700	5.3
	合計	124,500	133,000	8,500	6.8
営業利益	精密機器事業	2,900	3,200	300	10.3
	輸送用機器事業	800	1,100	300	37.5
	航空・油圧機器事業	1,600	1,700	100	6.3
	産業用機器事業	2,200	2,500	300	13.6
	合計	7,500	8,500	1,000	13.3

セグメント別見通し

精密機器事業

国内外ロボット業界向け精密減速機の好調により、増収増益の見通しです。

輸送用機器事業

商用車向けブレーキの減少により減収となりますが、コスト改善活動の進展により増益の見通しです。

航空・油圧機器事業

米国同時テロ事件以降の民間航空業界の回復遅れによる落ち込みが続きますが、中国建設機械市場の好調により増収の見通しです。利益面では、材料価格の高騰等により微増益の見通しです。

産業用機器事業

自動ドア関連分野と食品用包装機械の伸びにより、増収増益の見通しです。